



# 第 1 章 応急手当と救命処置

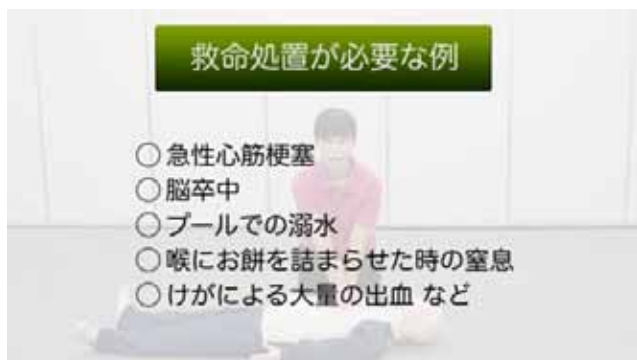


わたしたちが日々生活をする中で、いつ、どこで、突然のけがや病気におそわれるかわかりません。

そんな時に、家庭や職場でできる手当のことを、応急手当といいます。



けがや病気の中でも、心臓や呼吸が止まってしまった場合は、もっとも緊急を要します。こんな人の命を救うために、その場に居合わせた人ができる応急手当のことを「救命処置」といいます。



- 急性心筋梗塞
- 脳卒中
- プールでの溺水
- 喉にお餅を詰らせた時の窒息
- けがによる大量の出血 など

急性心筋梗塞、脳卒中は何の前触れもなく起こることもあります。プールでおぼれたり、喉にお餅を詰まらせたたり、けがで大出血したときも、何もしなければ、やがて心臓と呼吸は止まってしまいます。

## 救命処置が必要な例

- 急性心筋梗塞
- 脳卒中
- プールでの溺水
- 喉にお餅を詰らせた時の窒息
- けがによる大量の出血 など



さっきまで元気になっていたのに、突然、心臓や呼吸が止まってしまった・・・  
そんなときのために、応急手当の基礎知識をつけておくことが大切です。

応急手当の基礎知識を学びましょう！